

セッション 1

事業名 領事システム

集計結果

・ 現状通り	0 名
・ 事業内容の一部改善	4 名
・ 事業全体の抜本的な改善	2 名
・ 廃止	0 名

取りまとめ結果及びコメント

◆現状通り

◆事業全体の抜本的な改善

◆事業内容の一部改善

◆廃止

●第3段階も含めて、平成30年度には領事システム全体が運用を開始されたのであるから、すでに運用されている旅券・基盤、査証のこれまでの成果も含めて、成果を明確にしていくべきである。

●ライフサイクルコスト(開発から運用期間全体を通してのコスト全体)を把握したうえで費用対効果の評価を行う体制を整える必要がある。

●調達については、部分的な改修を重点に事業が進められており、硬直的である。

- デジタル・ガバメント実行計画において考えている利用者目線のアウトカムを本事業のレビューシートのアウトカムとして活用すべきである。
- 今夏にデジタル・ガバメント実行計画を策定するのであれば、より掘り下げた検討が必要である。